

国家戦略特区のリセットについて

1. 現状認識

特区諮問会議で決定された特例措置の実現は着実に進みつつあるが、新規の改革は思うように進展せず。民間有識者委員からも複数回指摘あり。

現在、重要な改革事項の検討が特区ワーキンググループで進みつつある（代表的な例を別紙に整理）。これらについては、法改正が必要となる事項についての、この冬の通常国会での対応も含め、着実かつ迅速に、その実現を図る。

他方、ボトムアップの提案を待っているだけでは、岩盤規制改革を強力に進めていくために必要な新規の改革提案は得ることは難しい状況。まずは、新規のイノベーション投資へと切り込む覚悟と決意を自ら示すことが必要。

2. 特区の新たなチャレンジ

「スーパーシティ構想」に取り組む

- 世界最先端の取組に対する投資を引き出す
- ビックデータを基軸に分野横断的に横串の改革を進める
- 特区の持つ「エリア性」を最大限活かした改革を進める

本来の特区ワーキングとは別に、委員各位にも参加・推薦等のご協力をいただき、私的懇談会を早急に立ち上げ。年末に未来投資戦略が中間的な報告をとりまとめるまでの間に、「スーパーシティ構想」の方向性を自ら纏め、特区を用いた岩盤規制改革の方向性を示したい。

以上

国家戦略特区WGにおける検討項目(例)

1. 先端医療のイノベーション促進・地域ニーズに柔軟に対応した福祉サービス展開

医療・創薬のイノベーションによる先端医療の国際競争力向上と、地域のニーズに寄り添った豊かな福祉サービスの提供を実現。

- 創薬ベンチャーによる新薬開発加速化のための包括許可制度の新設
【神奈川県】(関係省庁:厚労省)
- 治験処理迅速化のための重水素化合物の輸出規制の緩和
【神奈川県】(関係省庁:経産省)
- 児童福祉施設の設備及び運営に係る基準緩和
【千葉市】(関係省庁:厚労省):WGヒア 18/9/19

2. 先進的なITを最大限に活用した対人サービス革新

生産性が低迷する対人サービス分野において、先進的ITを最大限に活用した新サービスを開発し、次世代の利便性を先取り。

- 初等教育における遠隔教育(受信側の教科免許保有の特例)
【茨城県】(関係省庁:文科省):WGヒア 18/7/20
- 銀行口座以外(ペイロールカード・デジタルマネー等)への賃金支払い
【東京都・福岡市】(関係省庁:厚労省):WGヒア 17/12/8、18/4/20、5/29、8/8、特区諮問会議 18/6/14
- FinTechを活用した新たな資金調達手法の構築
【関係業界等と議論中】(関係省庁:金融庁)
- 遠隔服薬指導の地理的要件の見直し
【千葉市】(関係省庁:厚労省):WGヒア 18/2/16、5/29、区域会議 18/5/30、特区諮問会議 18/6/14

3. 各地域のニーズを踏まえた地方の付加価値向上

地域の特色を生かし、その潜在力を引き出すことへの制約要因を取り除き、地域の魅力・価値を最大化。

- インターチェンジ近隣における農地転用と都市計画の手続きワンストップ化
【鳥栖市 他】(関係省庁:農水・国交省):WGヒア 14/9/11、12/26、15/2/27、11/12 その後、鳥栖市等に随時ヒアリング
- レジャーダイバーガイドに係る資格要件の国際標準対応
【沖縄県】(関係省庁:厚労省):WGヒア 18/3/16、5/11、区域会議 18/5/30
- インバウンド(医療ツーリズム)推進のための医療ビザ要件の緩和
【愛知県】(関係省庁:法務・厚労省):WGヒア 16/10/26、11/17、12/26、17/2/9、18/9/19、区域会議 18/3/8、5/30
- 新たな観光客向けライドシェア・カーシェア制度の創設
(関係省庁:国交省)